

ポンプ消耗部品交換手順書

< V6-D >

(株)扶桑工業

1. プランジャの交換要領

部品の交換前にポンプ本体の土、泥等の付着物を綺麗に洗浄して下さい。

(1) ギヤケース部とシリンダ部の分離

- 1) ポンプに接続されている、サクションホースとデリバリーホースを外します。
- 2) シリンダケースとベースをつないでいる
ボルト (W1/2×20 平21) 2本
を外します。
- 3) パッキングランドの締め付けナット
(W1/2)を緩めます。



- 4) Vプーリを手で回し2本のプランジャをそれぞれ1往復以上させ、パッキンの締め付けを開放して下さい。
- 5) ギヤケースとシリンダの接続ボルト4本
(W1/2×65 平21) を外し、テーパ
ピンをギヤケース側からシリンダ側へ
叩いて抜きます。
- 6) シリンダ部をベース上から外し
安全な場所に移します。



(2) プランジャとパッキンの交換

- 1) ジョイントボルトに丸棒を差込み、回転を押えながらベアリングナットに引掛スパナを掛け、左に回し緩めて下さい。



丸棒: $\phi 8 \times 200\text{mm}$ 程度

- 2) ジョイントボルトに丸棒を差込み、回転を押えながらプランジャに引掛ピンスパナを掛け、左に回し外して下さい。



- 3) ジョイントボルトの接続部の汚れ等を洗浄して下さい。



- 4) 油分を除去したプランジャにローバルスプレーを吹きつけて下さい。



- 5) ジョイントボルトに新しいプランジャを右に回しながら軽くねじ込んで下さい。



- 6) プランジャの外径にグリースを塗布して下さい。



- 7) シリンダ内のパッキンを取り外すため
開口部を上に向けて置きます。
下部に角材等を敷き安定させます。



- 8) パッキングランドを外し、中の
パッキンを取り出します。

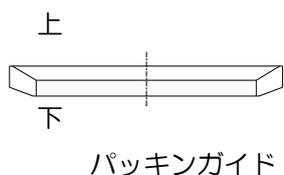


- 9) シリンダケースの内部を、きれいな水で洗淨し泥土や砂などを除きます。

- 10) シリンダケースの開口部を
上向きにし、下部に角材等
を敷き安定させて置きます。



- 11) リング状のパッキンガイドとシリンダケース内にグリースを塗布し、図のような向きで
シリンダ内に挿入して下さい。



- 12) Vプーリを手で回し左右のプランジャ
が同じ位置になるようにし、パッキン
ランドをプランジャに挿入します。



- 13) シリンダ部をギヤケースにボルトで
接続します。(ボルトを締める前に
テーパーピンをしっかりきかせ芯を
出してください。)



14) ポンプベースにシリンダ部、ギヤケース部共に本締めをします。

15) ナフロンパッキンとコットングリスパッキンに油分を塗布し、ナフロン1枚→コットン4枚→ナフロン1枚の順に、切り口を180°交互にずらし入れます。パッキンが所定の位置に入るまでドライバ等で1枚ずつ丁寧に押し込み、パッキングランドを入れ軽く締め付けます。最後にプーリを手動で1周させ、プランジャの芯を出します。



※強化型プランジャの場合、コットングリスパッキンは使用しません。

油分塗布したナフロンパッキン6枚を、切り口を180°交互にずらし入れます。他手順は同様です。

16) プランジャとパッキンが馴染み芯が出たら、ジョイントボルトを丸棒で固定し、新しいプランジャに引掛けピンスパナを掛け締めこんで下さい。

17) プランジャを引掛けピンスパナで固定し、ベアリングナットに引掛けスパナを掛け、右に回し締め付けます。



18) パッキングランドが左右均等になるように調整して下さい。

(締め付ネット1. 5~2回転で約3~4mm程度締めこむことができます。)

締め付けネット：W1/2



※最終的なネットの締め付けは、送水時に漏れ具合を見ながら調節して下さい。

([7]運転操作 5.ポンプの始動の項(P12)を参照ください)

「作業工具」

引掛けスパナ：{φ50~φ55}

引掛けピンスパナ：{φ50~φ55}

2. バルブシートの点検と交換要領

- 1) チャンバを締め付けているナット（W1”平41）を外してチャンバをとります。



- 2) バルブボックスをとり、中のスチールボールを出します。



- 3) シリンダケース内のスチールボールをとり出します。
スチールボール表面が著しく錆びていたり、凹凸が見られたりした場合は交換をしてください。



- 4) バルブシートのシート面が磨耗したり欠けたり、虫食い状態になっている場合は交換してください。



- 5) バルブシートの取り外しは、バルブシート引抜き器（オプション販売）をご利用になると便利です。引抜き器のボルトをバルブシート内側のねじにはめ込んでプレートをかぶせ、平ワッシャを敷きナット（M30 平46）で締め付けてゆくとバルブシートが抜けます。

